

生活彩る情報局

シニアに「美」を提供

協会設立し訪問美容活動

メイクセラピストで、エステティックサロンを神戸市内で経営する傍ら、高齢者施設や障害者施設などで訪問美容活動を行う一般社団法人日本アピアランスセラピー協会（大阪市）で代表理事を務めるみきしほ氏。「おしゃれな人は元気です！」というコンセプトのもと、幅広い活動を行っている。



一般社団法人
日本アピアランス
セラピー協会
みきしほ
代表理事

みきしほ代表理事は、養護教諭時代に阪神淡路大震災を経験。体調管理のボランティア活動をしてきた避難所で、ふさぎこんでしまっていた女性に出会い、思わず女性に口紅を差した。すると、女性の表情が一変し、とても明るくなったという。

みき代表理事は当時を振り返る、子育てが落ち着いた主婦など

が集まり、活動メンバーも増えた。みき代表理事が不在でもチームを組む、県外にも訪問するなど活動は広域化。特養やデイ、障害者施設などへの定期的な訪問もあり、遠方からの訪問依頼も増えた。

そこで3年前に同協会を設立。全国規模での訪問美容活動、マナー・ルール等を指導し、一定の技術と知識を持ったアピアランスセラピストを養成し、訪問先との信頼関係を築く。異業種の有資格者も混じえながら、新たな健康美シニアは堂々と舞台に立ったという。



▲活動の様子

とを目標に掲げ活動している。

「シニアにメイクをすると、若い頃の話や恋愛のことなど、華やかな話題になることが多く、みな生き生きとします。食事介助が必要な80歳代の女性が、化粧をしたところとても喜んで、自身で化粧品を購入し、着る物もおしゃれになった事例など多々ありますが、メイクは良いことしかありません。ゼロをプラスにできる力があるのです」（みき代表理事）